

平成7年度担い手育成事業実施状況一覧

担当者：瀬底正武

課題	実施時期	実施場所	対象	協力者	経過及び成果	問題点及び今後の課題
青年漁業者等確保育成事業 1) 漁村女性はたらっらい フ事業 (1) 交流学習事業	6月28日～ 30日(3日 間)	八重山漁協直売店 薫製加工場	渡名喜漁協婦人部	八重山漁協、同婦 人部、八重山支庁 農水課普及員	◎漁村女性を対象に未利用魚等を用いた、 簡易加工の実践活動を行うために必要な 知識、技術等についての講習会・交流学 習会を行った。 1) 交流学習経過 7. 6月28日、16時10分石垣着ホテルに て打ち合わせ。(指導：直売店担当、 黒島氏) 4. 6月29日、午前中漁協直売点にて、 ゲソの皮剥き作業→洗浄→ポイルー水 水処理(原量19キロ) 同午後、薫製加工17時まで同17時30 分から18時まで、直売にて包装作業 (歩留まり68%) 同19時30分～21時30分まで、両漁協 婦人部との交流会が行われた。 7. 6月30日、午前中水産施設等視察。 午後ジョッピング17時40分那覇着、解 散。	◎八重山漁協の積極的な受け 入れ体制のもと「ソデイカ 薫製加工」交流学習会を開 催し、素晴らしい成果と共 に無事終了しました。漁協 長初め、担当職員、婦人部 の皆さん、支庁の普及員に は大変お世話になりました 心より感謝致します。
(2) 漁獲物活用講習会 開催	7月11日～ 13日(3日)	渡名喜村漁協	同漁協婦人部	漁協、村役所、南 部普及センター、 生活改良普及員	2) 加工講習会経過 7. 八重山漁協で実施されたソデイカ薫 製加工交流学習会の成果をもとに、7 月11日から13日かけて、渡名喜村漁協 において実施した。	◎調味料の分量を明確にする 必要を痛感した。実際には、 目分量であるため、婦人部 の戸惑いも見られた。(大 まかでも、分量は必要)

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
					<p>イ、当日は、漁協職員（事務局）2人、婦人部20人、村経済課長他2人、南部農改（生改善及員）1人、水試研究員（講師）1人、水改1人計=28人の参加があった。</p> <p>ウ、1日目は、加工に入る前に「薫製加工の製法」について、水試新里喜信研究員から説明を受け、その後原料処理に入る。当日の作業は、頭足部の皮剥き、煮熟、冷却、調味塗布まで行い冷蔵庫で一晩放置（漬け込みによる味の浸透を図るため）。</p> <p>2日目は、村の生活改善センター敷地内に於いて簡易のドラム缶で作った釜を使用し薫製した。薫製に入る前に、一晚漬け込んだゲンを水切りした後薫製、薫煙後は、ゴマ油を使用してつやだし、包装（真空包装）して製了。約40キロ加工した。</p> <p>エ、終了後同センターで、試食をかねて反省会を行い評価してもらった。</p> <p>（評価は、組合長、民宿の親父、村経済課）全体的には、大人の味が出ていて大変素晴らしいとの評価を受ける。反面子供には辛すぎるのではとの意見もあった。</p> <p>オ、7月21日の渡名喜村祭には、加工品を展示即売する等、祭品評会では「奨励賞」に輝いた。現在島のお土産として、好評のようである。（ちなみに、8月30日現在薫製の原料であるソディ</p>	<p>◎ドラム缶薫製では、限界があり量産体制へ移行するに当たっては、薫製釜の改善が先決である。</p> <p>◎粟（もちきび）とヒトエグサ、ソディカ薫製の三点セットによる販売も検討されよう。</p> <p>◎調味料は、塩（島マース）、砂糖、ダシの素、ハイミー、七味唐辛子、ゴマ油、重炭素Na（パウダー）。割合は、目分量それぞれ独自で工夫との指導であった。</p>

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
(3) 営漁指導事業 (営漁簿の記帳指導等)	11月9日	渡名喜村漁協	同漁協婦人部 (夫婦同伴)	漁協、村役所、 南部農改センター 生改普及員	カのゲン1.6トン出荷された。)。 ◎詳細については、報告書にとりまとめる こととなりますが、出来うればア、イ、に については薫製加工マニュアル作成を予定。 ◎実施方法は、県漁連(組織強化推進室) 課長補佐、木村氏による営漁簿の記帳、 営漁日誌等についての実践、演習を婦人 部、漁業者を対象に行った。(19名の参 加があった。)	
2) 担い手育成関連 (1) 漁村青少年協議会開 催	6月26日	水産改良普及所	協議会委員		◎組織的な学習や活動をとおして、相互の 堅密な連携と情報交換を行うことにより、 漁村の人的作りと活性化を推進するため (青年漁業者育成確保推進事業)実施。 ◎第1回開催……議題 1) 平成7年度普及事業の概要について 2) 平成7年度青年漁業者育成確保推進事 業実施計画について 3) 平成8年度青年漁業者育成確保推進事 業(アンケート調査)について 4) 漁村女性はつらつライフ事業について 5) 平成7年度漁村青年婦人活動実績発 表大会(推薦依頼等)について 6) 青壮年部巡回移動相談の実施状況等意 見交換 7) その他……重点課題の設定等	◎来年度から、青少年協議会 の開催回数は年2回開催と なる。 ◎青少年協議会委員の任期が 平成8年3月9日までとな っている。 ◎新委員の選任準備 ◎選任に必要な書類と提出月 日 1) 本人の履歴書、一通 2) 選任理由書、一通 3) 本人の就任承諾書、一 通
(2) 交流学習会の開催	9月9日	名護浦荘	漁業者、漁協、系 統団体、流通業者、		◎地域に於ける未開発の技術又は経営手段 の導入にあたって、後継者自らが地域の	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
(3) 漁協青壮年部巡回移動相談の実施	2月24日	石川市漁協	市町村、関係機関 青壮年部	漁協、市町村	<p>特定課題又は、技術内容を充分理解し得るよう、専門家を招き集団学習を行うものである。第1回目は、東都水産株式会社係長の内田勝氏を講師に招き、「内田氏が見た我が国の流通の現状」と題して、講演を行った。</p> <p>当日は、あいにくの土曜日にもかかわらず55名が参加し、活発な討議が行われた。講義内容については、若干不満、物足りなさもあったようだが、築地の現状、厳しさを認識しただけでも参加して良かったとの声を後日巡回で聞き安堵した。「内田氏には大変忙しい中ご苦勞様でした。」</p> <p>◎移動相談では、平成6年度実態調査に基づいた活動報告が行われ、その後青壮年部の組織活動の必要性について、意見交換が行われた。意見交換の中で、組織の必要性は感じているものの、活動の方向が定まらぬまま「何をすれば良いか分からない」休止状態である。参加者は、組合長、参事、担当事務局、市役所等からの意見も出された。今後は、組織の見直しの方向で事務局、普及所等と検討すること終了した。</p>	◎高齢化が目立ち、今後の組織作りには厳しいものを感じた。
	4月21日	沖縄市漁協	青壮年部	漁 協	◎開催当日集まりが大変悪く心配されたが、辛うじてそれらしきメンバーが揃い、何とか格好がついた移動相談であった。日々厳しい漁業経営を強いられている状況の中で、生産部会活動（シャコガイ、パ	◎当面は、生産部会とは別組織にして、青壮年部は小教体制で継続することになった

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
					ヤオ、白イカ曳)については、わりと一生懸命であることから、生産部会活動を取り入れた青壮年活動への展開を本気で考える必要がある。これまでは、どちらかと言えば奉仕的な行事等への参加が活動の主体であった。	◎移動相談一巡後の平成8年2月から3月頃に全体会議「部長事務局会議」を開催し総括する。
	6月7日	伊良部町漁協	青年壮年部	漁協、町水産課	◎それぞれ地域市町村の水産担当職員、漁協職員(組合長・事務局)漁業士等の参加の元で開催された。共通する所は、「役員改選後のリーダーの手腕の欠如である。」言い替えば、リーダーとなる次の後継者が育ってないということである。したがって、組織活動の基本となる総会が全く開かれていないことにも起因する。これは、組織活動の大きな失態である。今後は、活動計画の基本的な見直し(部会、班活動の推進)、リーダー育成(リーダー研修の継続と内容等の検討)等積極的に推進する必要がある。	
	6月20日	伊江村漁協	青壮年部	漁協、村役場		
	10月24日	久米島漁協	青壮年部	漁協・市町村	◎部員35名中8名参加、辛うじて実施したもの青壮年部から特に意見もなく、普及所主導で進められた移動相談であった。全体的な青壮年活動のあり方、方向性について全体討議の必要あり。	◎青壮年部に元気が見られない。
	11月28日	八重山漁協	青壮年部	漁協・市町村	◎八重山漁協青壮年部は、仲田部長を中心に地域活動と生産活動を取り入れた青壮年部活動を展開している。地域活動として、幼稚園児の海水浴時のクラゲ対策と	◎ボランティア活動と親睦活動(レクリエーション)と別活動にしたことが特徴的である。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
3) 技術交流会の開催 (タチウオ釣り漁業につ いて)	10月23日	浦添・宜野湾漁協	漁業者	漁協・市町村	<p>◎技術等について、地域相互間の交流を行 い、技術・知識の向上を図るため浦添・ 宜野湾漁協において、タチウオ釣り漁業 についての技術交流会を実施した。 参加者：謝花喜和（本部）、与那下英輝 （勝連）、比嘉幸雄（渡名喜）、山口栄勝 （北谷）、新嵩（漁連） 協 力；浦添・宜野湾漁協</p>	◎参加者は、交流の成果を地 元漁協において、実践中 ある。
	12月15日	勝連漁協津堅支部	青壮年部	漁協・市町村	<p>して、ネット設置等（ボランティア活動） 生産活動として、青壮年部の組織下に研 究会を設置し、魚介類の中間育成から養 殖出荷までの実践活動を計画している。 他に、一本釣り研究会の発足も検討中。 （青壮年部13名の参加があった。）</p> <p>◎青壮年部22名中19名の参加があった。当 日は、津堅区長もオプザーバー参加をし て、青壮年部が地域活動の担い手として、 果たしている役割について評価があった。 ア. ユンボークルによる地域への貢献 イ. 区活動と青壮年部との連携活動の強 化等</p>	◎青壮年部独自の活動につ いては、一般的な親睦活動に 終始しているため、今後は、 下部組織としてのグルー プ作りを検討する。
	2月21日	那覇市沿岸漁協	青壮年部	漁 協	<p>※2月5日現在、移動相談未開催漁協は、 糸満漁協、知念漁協、港川漁協の3漁 協である。また、恩納村漁協について は、青壮年部活動が中止している状態 であり、今後も活動する予定でないの で、移動相談の必要はないとのこと であった。</p>	◎3月中旬頃、リーダー研修 兼ねて、部長事務局会議を 開催予定。総括と全体討議 を行う。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
4) ヒトエトグサ養殖生産者 会議の開催	9月27日	水産改良普及所	養殖生産者	漁協・市町村	◎養殖技術、販売、流通についての意見交換を図りたく同会議を開催した。本年度は主に、新規養殖漁協の実践事例の紹介と県漁連、事業本部長の長浜氏によるアサの販売とその取り扱いについて意見交換を行った。当日は、養殖漁家25名の参加があった。尚、詳細については、会議資料を参照。	◎近年は、モズク養殖の衰退により新規漁家が增えつつある。 ◎来年度以降、会議の持ち方等工夫したい。各位の良案をお願いしたい。
5) 普及職員連絡会議の開催	6月8日	平良市漁協	普及職員	漁協・宮古支庁	◎第1回開催……議題 1) 学習会 * テーマ；「漁家経営と納税申告」 * 講 師；県漁連、組織強化推進室 課長補佐 木村正明氏 2) 平成7年度重点普及課題計画について * 各担当地区における重点普及課題の検討を行い12課題を設定した。 * 期間は、平成7年度から9年度までの3年間 * 実行ある計画の推進を期待する。 ◎第2回開催……議題 1) 平成8年度漁業生産の担い手育成事業計画（アンケート調査）検討 2) 平成7年度発表大会の取り組みについて 3) 平成7年度担当地区別普及活動中間報告 4) 沖縄県漁村青少年協議会委員の選任について 5) その他 6) 閉会	
(5-2) 同 上	9月28日	水改普及所	普及職員			

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
(2-1) 交流学習会の開催	1月12日	水産会館	漁業者・グループ等	県漁連・宮古・八重山支庁等	<p>◎第19回漁村青壮年婦人活動実績発表大会と関連づけて実施した。今年度は、琉球放送「ナウサンサー」の上原直彦氏を講師に、「海、山談義」昔と今と題して、講演を予定していたが、正月番組等との日程調整が難しく予定変更を余儀なくされた。</p> <p>◎予定変更後は、琉球大学理学部教授・諸喜田茂充氏による「漁場保全と資源管理型漁業」と題して、講演を行った。講演要旨については、別紙参照。</p>	◎来年度以降については、シンポジウム等を含めて、検討する必要がある。
(2-2) 漁村青壮年婦人活動実績発表大会の開催(19回)	1月12日	水産会館	漁業者・グループ等	県漁連・水産振興課・宮古・八重山支庁等	<p>◎この事業は、漁村青壮年及び婦人、研究グループが自主的な活動実績を発表し、相互の知識と技術の交流を図り、活動意欲を高めると共に地域の生産技術の向上、経営の改善に寄与することを目的として開催されたものである。</p> <p>今年度は、4地区の代表による活動実績発表がありました。</p> <p>1) わたくししの複合経営……金城 馨(糸満)</p> <p>2) 青壮年部活動と漁民運動会への取り組み……伊地博喜(伊良部)</p> <p>3) ソンデイカ漁業と資源管理……上原亀一(八重山)</p> <p>4) 漁家地域の活性化と特産品づくり……与那覇好美(伊平屋)</p> <p>最優秀賞には、「ソデイカ漁業と資源管理」と題して発表した、八重山漁協青壮年部の上原亀一氏に輝いた。</p>	◎来年度からは、大会名称も「青年漁業者交換大会」となり、全国大会への推薦も1県につき2点(当面は、男性1、女性1)となっている。 <p>◎必要に応じ、シンポジウムの開催指導もある。</p>



課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問題点及び今後の課題
(1-2) 漁村青少年協議会	10月27日	水産改良普及所	協議会委員		<p>◎第2回開催……議題</p> <p>1) 平成8年度青年漁業者育成確保促進事業計画</p> <p>2) 平成7年度漁村女性はたらっライフ事業の実施</p> <p>3) 平成7年度漁村青壮年婦人活動実績発表大会</p> <p>4) 平成6年度若い漁業者育成確保促進事業(報告)</p> <p>5) 漁業士活動の見直しについて</p> <p>6) その他、平成7年度重点普及課題について</p>	
(1-3) 同上	2月26日	水産改良普及所	協議会委員		<p>◎第3回開催……議題</p> <p>1) 平成7年度青年漁業者育成確保促進事業実施状況</p> <p>2) 平成8年度青年漁業者育成確保促進事業計画</p> <p>3) 平成8年度沖縄県漁業士会事業計画について</p> <p>4) その他</p>	
(5-3) 普及職員連絡会議の開催	3月14日	水産改良普及所	普及職員		<p>◎第3回開催……議題</p> <p>1) 平成8年度普及事業予算について</p> <p>2) 平成8年度沖縄県漁業士活動実施計画について</p> <p>3) 平成7年度普及課題活動報告及び地域活動報告</p> <p>4) 平成7年度実績発表大会の反省・8年度大会の取り組みについて</p>	
6) 平成7年度漁協青壮年部部长・事務局会議の開催(リーダー研修会)	3月15日	水産改良普及所	各漁協青壮年部	県漁連	<p>◎平成7年度の青壮年部巡回移動相談の総括とリーダー研修会を開催した。</p> <p>演題：『リーダーの役割』</p> <p>講師：安谷屋幸男(あだにやこうゆう) 財団法人沖縄県青年会館・常務理事</p> <p>◎詳細については、活動報告書を参照</p>	

平成7年度宮古地区普及事業報告

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果
1. 水産業改良普及事業 ① ヒトエグサ養殖指導	平成7年9月 ～平成8年3	多良間村	漁業者	多良間村役場 平良市漁協	今年はず年30枚でおこなった網を100枚に増やし、養殖指導をおこなったところ、平成7年3月の報告では約600kgの収穫量であった。(昨年は25kg)しかし、雑藻が多く収穫作業の遅れてしまった。この反省点としては、採苗時期の遅れが原因だと考えられる。また、モズクの中古網を用いたことも採苗に悪影響を与えたと考えられるので、平成8年度はこの点に注意して指導をおこないたい。
② 樽流し漁法指導	平成7年12月 13日	池間島北側沖	平良市漁協 青壮年部 城辺支部	指導漁業士 根間登志夫	城辺町青壮年部では潜水器漁業にかわる漁法の導入と、未利用の深海高級魚を漁獲対象にした樽流し漁法の技術習得による漁業経営の改善を図る目的で同漁法の指導をおこなった。
2. 担い手確保育成事業 (1) 担い手確保総合対策推進 委員会の開催	平成7年5月	宮古支庁会議 室		委員	議題 1. 平成7年度宮古地区普及計画について ・ヒトエグサ養殖指導についての説明と了解 ・樽流し漁法指導についての説明と了解 2. 平成7年度漁村生産の担い手育成事業について ・カツオ釣体験学習についての説明と了解 3. 平成7年度漁村青壮年女性実績発表大会の発表者について
	平成8年2月	伊良部町漁協 会議室		委員	議題 1. 平成7年度宮古地区普及活動報告について ・ヒトエグサ養殖指導報告 ・樽流し漁法指導報告

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果
(2) 新規漁業者就業促進事業 少年水産教室	平成7年7月	池 間	池間中学校 生徒	・池間中学校 ・指導漁業士 伊良波 進 ・島内各カツ オ工場	2. 平成7年度漁村生産の担い手育成事業報告 ・カツオ釣体験学習報告 3. 漁村青壮年グループの活動実体調査報告  課題；カツオ漁業体験学習 対象；池間中学校 内容；男子生徒は乗船実習 女子生徒はカツオ節加工実習
(3) 青年漁業者育成事業 青年漁業者活動育成事業 青年漁業者交流大会 青年・女性漁業者交流大会 (実績発表大会)	平成8年1月	那 覇		伊良部町漁協	発表課題；青年部活動と漁民運動会に取り組んで 発表者；伊地 博喜（伊良部町漁協青壮年部）
交流学習事業 技術交流	平成7年5月	奄美大島	狩俣漁業生 産グループ	平良市役所	課 題；アオリイカ産卵礁の設置と管理技術交流会 参加者；与那覇吉嗣（狩俣漁業生産グループ） 根 間 靖（狩俣漁業生産グループ） 長 嶺 巖（宮古支庁） 交流対象；名瀬漁協、龍郷漁協
漁業技術育成定着事業 新技術定着試験	平成8年4月 ～3月	狩 俣	狩俣漁業生 産グループ	・平良市漁協 ・沖縄県水産 試験場八重 山支場	課題；キリンサイ養殖定着試験 次の3つの方法で試験をおこなった。 ①ロープ挟み込み方式 ②荒縄挟み込み方式 ③袋方式 結果、①と③は藻体が完全に消失してしまった。 ②は袋からのキリンサイの芽だしが確認された。平 成8年度は③の方式で実施。また、人工採苗の可能 性も探りたい。

## 平成7年度担当地区別普及活動報告

担当地区；八重山 担当者名；糸 数 正

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協力者	実 績	課 題
青年部活動	周年	与那国町	青年部		平成5年度からシャコ貝の増殖に取り組んでいたが、種苗供給会議の「養殖優先」の方針により種苗が入手できず、平成6年度は断念した。供給会議にねじ込み7年度は約5千埋め込んでいる。 生育状況については、来る3月18日に漁船を用船し調査を行う予定である。	「養殖優先」の考え方は養殖限定ではなく、増殖用でも高度に管理するのであれば、優先されるべきであり、親として使用し天然漁場を復活させる計画であれば、資源管理型漁業の推進の観点から養殖よりはるかに優先されなければならないのではないだろうか。
婦 人 部 活 動	周年	石垣市	青年部 婦人部		ウミブドウの陸上養殖の試験を行うため宮古から母藻を導入したが、技術の稚拙なことから、養殖場工事のため失敗した。	陸上もしくは養殖場の浅瀬で可能な養殖を模索している（オゴノリはどうかと考えている）。
	周年	竹富町	小浜生活改善グループ	生改	小浜島で真空包装機の設置希望があり計画を進めていたが、具体的な製品開発、販路等が見いだせないまま、検討課題として中止した。	離島であるだけに、販路を開拓しないで事業を導入すると逆に地元の負担に成りかねない。 加工品の試作販売を何らかの事業で予算化できないだろうか。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	実 績	課 題
1. 生産活動に関する課題 (重点課題進捗状況、事業・試験・指導関連課題等)						
漁業公害調査	周年	名蔵湾			昨年6月に大雨により大量に土砂が流入し、濁度が大幅にアップしたが、本年度は落ち着いている。	西表の工事等の影響が懸念されるので、漁協、漁業者との連絡体制の確立等を図りたい。
資源管理型漁業の推進	周年	先島海域	曳縄グループ		ソデイカ漁業に係る委員会指示が地元の要望に沿う形で発令された。	クチナジに係る資源管理の導入を進めている。操業禁止海域の設定作業を進めている。
活性化計画の推進	周年	石垣市	八重山漁協		八重山漁協の活性化計画案ができあがったので、実施について行政側も強力にバックアップしなければならぬ。特に卸売市場の整備については重点課題としている程、漁協の最重要課題である。 (1)流通体制の整備 (2)組織活動の強化 (3)漁協経営基盤の強化 (4)資源管理型漁業の推進 (5)生産基盤の整備	前回は何ら具体的な取り組みを行わず今回の見直しとなっていることを、漁協の理事全員が深く反省し、今後真摯な姿勢で取り組み、理事会で定めなら再建委員会を新たに起こす等方策を考える必要がある。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	実 績	課 題
流通対策	周年	石垣市 竹富町	モズク生産		昨年より、モズクを量産し始めたが、販売面で不安を困っており、他地域の情報の提供、漁協との調整等に当たっている。	生産者が少ないため、漁協としても対応に苦慮しており、今後、集荷、出荷について検査製缶、縄掛け機械の導入等を検討する。
	周年	石垣市 与那国町	一本釣、曳縄漁業者等		八重山地域における、「流通面で困っている魚」のリスト作りをしていくが、これらの魚の輸送試験を実施することを漁業者と検討中。	輸送費、魚代についてある程度の予算が必要である。
漁業調整	周年	石垣市 与那国町	鮪延縄漁業者等		八重山地域ではソデイカ延縄漁業の実績はないが、他地域の違法操業の情報等が地元鮪延縄漁業者らを混乱に招き、漁業調整委員会へ延縄追加容認の陳情を行ったが認められなかった。	漁業者と懇談を重ねた結果、石垣、与那国ともに今期は延縄を見合わせるなどの結果を得ている。しかし、このまま他地域の違法操業が続くと不測の事態は避けられない。漁政課に対し、裏付け命令の発令を期待する。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	実 績	課 題
漁業取締	周年	竹富町	遊漁案内業者	八重山署	調整規則に違反して観光客にサンゴ等を採捕させている業者がおり、空港で数件発見されている。このことについて八重山署からの依頼により漁政課と調整し、啓蒙ポスターによる指導を行うこととしていたが、まだ実施されていない。	サンゴの採捕については調整規則の判断に曖昧な面があり、八重山署からも「どれを、どの程度獲ったら」違反なのかという問い合わせがあり、漁政課と調整中である。
構造改善事業	周年	石垣市	八重山漁協		再整備中であるため、当面設備投資は行わない方針であるが、直営事業である車えび養殖場の漁具資材保管庫と漁船巻揚機についてはどうしても必要であるため事業を導入している。	再建策を具体化させ、なにをやるべきなのかを普及員も一緒に考えていきたい。 耐用年数が過ぎ遊休化している施設の有効利用を図るため、施設の改善計画書を作成する必要がある。
		竹富町			竹富町の漁港整備はかなり進んでいるが、いまだに日陰（作業場）もない漁港もあり陸上機能施設の整備が必要だと思われるが、これらの計画策定について示唆しても取り合わない。	作業場の要望の話がでているが、町からは具体的な計画が上がっていないので、協議したいと思っている。

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	実 績	課 題
沿岸漁場整備開発	周年	石垣市	石垣市		<p>平成6年度より整備を進めている魚類養殖場が平成10年には供用開始となる。</p> <p>一方、養殖業に対する地元漁業者の意欲はいまひとつという状況にあり、青年部を中心に啓蒙を行った。</p>	<p>完成後の供用の具体的内容がまだ詰められていないため、早急に漁協、漁業者との調整を行う必要がある。</p> <p>また、技術の研鑽、流通対策等についての検討も急ぐ必要がある。</p>
沿岸漁業改善資金業務	周年	石垣市 与那国町	沿岸漁業者		<p>これまで、改善資金の申請は漁協理事会において審議を経ずに提出されていたが、系統利用の推進の観点から指導した結果八重山漁協においては理事会をおすこととなった。</p>	<p>改善資金運営協議会の融資残額の考え方が変更されたことと、青年漁業者の開業資金の件について、漁業者への説明を行う必要がある。</p>



課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	実 績	課 題
2. 地域活動（担手＝青壮年婦人漁業士・生産集団等）に関する課題						
技 術 交 流 会	7月	本部町	モズク養殖業者	本部漁協 養殖業者 北部駐在	モズク養殖業者2名を引率して、県漁連担当からの流通実態の収集、本部水納島での収穫作業、漁協加工場等を視察研修し漁業者との交流を行った。 （交流会の場でシャコ貝の処理方法について本部側から相談があったので、後日、貝の開削用ナイフを参加した漁業者から送付した。）	漁場の状況等については、八重山は本部に比べて極めて好条件にある。網一枚あたりの収量も多く、販売面を整備しないと「作り過ぎ」の事態を招く恐れがある。 加工場ももない小浜の出荷方法を再検討する必要がある（逆に作業場を作るか？）
青年部活動	10月	宮崎県	八重山漁協青年部		青年部から視察研修の企画、引率を頼まれていたが同行せず。	観光漁業、養殖業について興味を持たせたい。
	周年	石垣市	”	養殖業者	天然種苗としてガツンが手に入ったので青年部のトレーニング用として飼育し、養殖データの収集を行ったほか、試験的な出荷をとおして流通対策について検討した。	短期養殖物として、複合的にならガツン等の天然種苗は有望である。 また、養殖魚の流通面の課題としてブランド化が重要である。